

# 京都労山

2024年6月号

No. 372

発行日

2024年5月20日

発行所: 京都府勤労者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: ☎.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>

【Eメールアドレス】 [kyoto-waf@dab.hi-ho.ne.jp](mailto:kyoto-waf@dab.hi-ho.ne.jp)



京都府勤労者山岳連盟

## 京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。



### 6月号目次

* 六つの合い言葉・目次	
* ステップアップ 教育委員会	01
* 事務局長会議報告	02
* 全国いっせいきりんハイクの呼びかけ	03
* 自然観察会の案内「大原から瓢箪崩山」	04
* 北陸新幹線延伸見直し署名の取り組み	05
* 春山連絡会の報告	06
* 過去の事故一報をみての考察第4回	07
* ハイキング委員会公開ハイクの報告「大文字山」	09
* クライミング委員会山行報告	10
* 大文字山登山道整備の案内	12
* 大文字山登山道整備の報告	13
* 能登半島被災者支援ボランティア募集案内	15
* 能登半島地震被災者支援活動報告	16
* 能登半島地震被災者支援ボランティア活動に参加して	18
* 平和と登山全国集会の案内	19
* 平和と登山全国集会のチラシ	20
* 国民平和大行進ニュース	21
* 国民平和大行進のコースと日程	23
* 連載企画・日本二百名山登頂・第36回「杵差岳」	24
* 6月号の案内	25
* 連盟月間予定表「カレンダー」	裏表紙

## 新しくなった取り組み

教育委員会

山下 建男

59期、教育遭難対策委員会は新設された「遭難対策部」へ教育遭難対策委員会として取り組んでいた「課題」を数項目移管しました。

毎期取り組んでいた「春山連絡会」「冬山連絡会」、初級登山学校開校の合間に取り組んでいた「ヒヤリハット・事故報告会」です。これらの項目は新設された「遭難対策部」へ移管しました、このことから「遭難対策」と行った題目を外して「教育」部門に専念する意味で「教育委員会」という名称に変更しました。名前から「町の教育委員会」と言った堅苦しい雰囲気捉えられそうですがそうでは無くでざっくばらんな委員の集まりとして機能しています。

遭難対策関連が抜けたことからメインディッシュはやはり「初級登山学校」の運営です。初級登山学校は昨年度第15回を終了しました。発足から30年立ったわけでこの30年の間に沢山の受講生を送り出し所属会・クラブや連盟の活動に沢山の皆さんが関わってこられたことは初級を預かる関係者として大変嬉しく思います。30年の重みはずっしりと教育委員会委員の肩に重くのしかかっていますが何とかその重圧に應えるように日々活動しています。

初級登山学校と同じ位の時間経過を費やしているのが「気象勉強会」です。これはひとえに講師の川邊（右京労山）さん個人のお力に頼っている次第です。川邊さんのモットウは「気象遭難を無くそう」とその一念で勉強会を継続して頂いています。気象を理解することは大変難しいことで「気象勉強会に入れば気象予報士のようなれる」と言った思い違いをされる方が多くおられるのも残念な事実です。川邊さんの長年築き上げた「経験と知識」を直ぐに身につけることはやはり困難です。ただ、気象の話聞くことで「何故天気が変わるのか、雨が降るのか、風が強くなるのか」などの気象変化を理解することが出来る。そのことから山行での「気象遭難」を防ぐことが出来ると思います。

この大きな二つの取り組み以外に「知識の蓄積」を目的に「講演会企画」、「読図企画」などに取り組んで行くことが委員会の目的です。

この目的達成の為に多くの会から委員の派遣をお願いする次第です。

**事務局長会議報告** (各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催)

5 月度会議：報告のみ 9 労山、西山、伏見、左京、やましな、乙訓、右京、明峯、洛中、山城各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

・[右京]＜例会＞4/14 金比羅クライミング 6 人,28～29 野坂山～赤坂山縦走 6 人＜予定＞5/12 公開ハイク大文字山～長等山テラス, 5/19 武奈ヶ岳・八雲ヶ原,24～27 屋久島・宮之浦岳＜その他＞4/25 山の集いテーマ「長持ちする登山」9 人参加

・[やましな]＜例会＞4/6 賤ヶ岳 12 人,20 大御影山 10 人＜予定＞5/12 新入会員歓迎山行・説明会と学習会,26 連盟交流ハイク比叡山＜その他＞4/20 大御影山 7 5 歳女性が滝谷山との分岐手前で転倒し右足首剥離骨折。自力下山無理で搬送要請。

・[西山]＜例会＞4/13 三点支持金比羅山 10 人,13～14 大江山縦走(テント) 13 人＜予定＞5/11 奥島山～長命寺,14 菊水・鍋蓋・摩耶山,25～26 剣山,31 小塩山＜その他＞5/18～19 特別山行高島トレイル方面 45 名参加予定。4/1 付 3 名入会。

・[左京]＜例会＞4/6 百里ヶ岳 3 人,14 そすい散歩(琵琶湖～鴨川) 8 人＜予定＞5/4 比良シャカ岳,12 入道ヶ岳＜その他＞6 月 26 日「左京労山総会」

・[乙訓]＜例会＞4/10 ポンポン山～小塩山 6 人,14 初心者向けクライミング 8 人,28 鈴鹿 10 座日本コバ 10 人＜予定＞5/18～19 春合宿恵那山/富士見台高原 28 名参加予定＜その他＞年度替わり 3 月末で創立期からの会員を含む 13 名の退会があったが、4 月新しいライフスタイルを育てると夫婦で入会も 5 名あり、91 名の会員数。

・[伏見]＜例会＞4/7 小塩山カタクリ(基礎講習兼)13 人,28 赤目 48 滝 11 人＜予定＞5/19 公開山行京都トレイル東山,29 比良・権現山・蓬莱山＜その他＞会員 53 人

・[明峯]＜例会＞4/10 京都トレイル⑦高尾山～嵐山 4 人,14 体カトレ比叡山きらら坂 10 人＜予定＞5/11 比良全山縦走,19 体カトレ保津峡～ツツジ尾根往復＜その他＞つどい「連盟ヒヤリハット・事故」を受けて、原因と対策を学ぼう。

・[洛中]＜例会＞4/14 登山入門教室(座学)22 人,21 春のワンディバスハイク(金剛山)35 人＜予定＞5/11 福井大日岳テント前泊,24～25 四国石鎚山

・[山城]＜例会＞4/7 大吉山・朝日山公開山行(青年学級)7 名+3 8 名。特別支援学校(学級)の卒業生対象の公開山行。山の会会員 7 人、卒業生 23 人、保護者 15 人。

**連盟の取り組み、活動報告** (連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告)

- ・5 月 26 日搬出技術勉強会。来月の無雪期搬出訓練スタッフ参加予定。
- ・6 月 23 日(日)無雪期搬出訓練。詳細は 5 月号の京都労山へ掲載。
- ・6 月 2 日(日)2024 全国一斉労山クリーンハイク実施。
- ・2024 交流会速報 11 月 9～10 日。クーンパーク思い出の森、高島。担当は洛中、明峯

次回 6 月 4 日(火)の事務局長会議は PM 7 時半より WEB 専用会議とします。

# 2024年 第51回全国一斉クリーンハイクへの呼びかけ

日本勤労者山岳連盟  
自然保護委員会

～ふるさとの山を清掃し、素晴らしい山岳自然を後世に引き継いこう～

登山クリーンハイクは、1974年10月に全国自然保護強化月間を設けて、これを機に、毎年6月第一日曜日を全国清掃登山の日と定め、今年で51回目を数えます。

登山自然保護憲章の中でも「クリーンハイク運動に参加し、登山者のモラルを高め、山からゴミを一掃します」と謳われています。このクリーンハイクも2019年末に発生したコロナウイルスの蔓延で約3年間は登山地方連盟の活動自粛が続きましたが、昨年2023年は、多くの地方連盟で取り組みを再開しています。

最近、「登山道でのゴミはすっかり少なくなった、もうクリーンハイクの目的は達成されたのではないか」という意見も聞かれます。しかしながら、クリーンハイクは登山者が最も手軽に参加できる自然保護活動であり、これが50年以上の長きにわたって継続されてきたからこそ、現在の登山者らのモラルが向上してきたのではないのでしょうか。現在、山岳の自然環境に対する課題は多様化してきています。山のトイレ問題をはじめとして、CO<sub>2</sub>排出による地球温暖化やニホンジカの食害問題、外来種等による生態系の劣化などがあり、我々だけの力では解決できなくなってきました。

そんな中で、これからのクリーンハイクは単なるゴミ拾いではなく、クリーンハイクを行うことで、多くの登山者が地域の山の環境や課題に気づき、多面的な自然保護活動を広げていくことが重要ではないでしょうか。そこで、下記に掲げる項目について、会員などへの参加と行動をここに呼びかけるものとします。

## 記

1. ゴミは山に捨てないようにして、持ち帰りましょう。
2. 山のトイレはバイオトイレが増えたとは言え、まだまだ不足しています。携帯トイレを持参し、利用することで山の自然環境への負荷を減らしていきましょう。
3. 山岳自然環境は、それぞれの地域によってさまざまな課題があります。例えば、登山道の保全や周辺施設の整備・保全、外来種の問題など、その地域の課題解決に必要な行動を行いましょ。
4. 太陽光パネルや風力発電施設は自然エネルギーの利用のためには必要ですが、山岳自然環境の劣化や希少な生態系の破壊につながる施設の設置は認められません。開発動向に関心を持ち、情報を共有しましょう。



以上

## 清水正さんの“自然と遊ぼう”パート8

### 「大原から瓢箪崩山」

今年の観察会は、大原から岩倉まで歩きます。  
見所としては、珍しいフモトスマレ、ツクバキンモンソウ、カラコギカエデなどをはじめ、オカタツナミソウの花も見られる頃です。最後には京都大学の地震観測施設なども見られます。

- 〈実施日〉 2024年6月29日（土）小雨決行  
\*中止の場合は、前夜19時までに連絡します。
- 〈コース〉 大原→瓢箪崩山→岩倉の長谷
- 〈案内〉 清水正氏（NPO自然観察指導員京都連絡会 代表理事）
- 〈集合〉 9時30分 花尻橋バス停（土井のしば漬け前）  
\*参考（各自確認してください）
- ・国際会館駅前（4番乗り場）8：46 発京都バス大原行（19番）  
→9：02 花尻橋着（280円）
  - ・京都駅前（C3乗り場）8：20 発京都バス大原行（17番）  
→9：16 花尻橋着（480円）
- 〈解散〉 15時頃 バス停 上長谷（岩倉）
- 〈持ち物〉 日帰り一般装備（雨具含む）、昼食、飲み物、マスク、除菌グッズ、常備薬や救急品等、あれば双眼鏡・ルーペ。  
\*緊急時の連絡先は各自で携帯しておいて下さい。
- 〈参加費〉 300円（資料代等）
- 〈定員〉 30名（会員限定）先着順、定員で締め切らせて頂きます。
- 〈申込〉 受付開始 6月1日（土） \*6月1日以前は受付できません  
〆 切 6月15日（土）

〈申込先〉 各会の自然保護委員にお申込み下さい。

メールでの申込みは、担当牧村（jrsk-1021@yahoo.co.jp）まで。  
その際、件名「自然観察会申し込み」、所属会・氏名・電話番号を記載して下さい。

\*キャンセルや急な欠席の場合は、各会委員または下記に連絡下さい。

（牧村携帯 090-3920-3312）

## 北陸新幹線京都延伸計画見直し署名のとりくみ

計画を見直しさせるため、あと一回国署名を広げてください！！

□北陸新幹線京都延伸計画は、環境アセスが完了せず、国の認可は未だされていません。

□この計画では、**環境を壊す多くの問題点**が明らかになっています

- ・880万㎡の膨大な残土の処分方法が未定、ヒ素が出る恐れ
- ・由良川、鴨川等の水源や京都盆地の地下水の減水・枯渇の恐れ
- ・京都丹波高原国定公園、「芦生の森」の自然など多様な生物への影響 等々

□**京都新聞は社説**で「計画の前提条件は破綻しているに等しい。強行すれば京都の将来に重大な禍根を残しかねない。今こそ、再考すべき時である」（2024.3.16）としています。

**同社の府民世論調査（2022年4月）**では、「計画推進」は3割弱、「再検討」と「中止」が6割に達し、推進を図る与党プロジェクトチームの当初の思惑通りにはいかななくなっています。

□現行の「小浜ルート」から「米原ルート」への再考を求める声が、北陸各県や京都府内の推進側の議員等から上がって来ています

小松市議会（石川県）が再考を求める決議（2023.12）

□**アセス調査が終わるまで署名を広げ、計画見直しをさせたい**と思います。

全国連盟のJWAF journal3月号で呼びかけ、静岡労山50筆、青森労山24筆、和歌山労山26筆、神奈川労山5筆、大阪労山30筆など3月以降続々と署名が届き、**集約数は8,944筆**（2024.5.12）に達しています。

各会宛に署名用紙（新事務所の住所）と返信用封筒を同封して送付しました。

各会の会員でまだされていない方、新しく入会された方、家族や知人に署名を広げていただきますようお願いします。

※第4次提出を8月頃に予定していますので、6月末を目途にとりくみ返送してください。（7月以降も提出日まで受付ます）

## 2024年度春山連絡会報告

遭難対策部が初めて主催する春山連絡会が、4月5日金曜日19:30より、連盟2階会議室での対面参加及びリモート併用にて開催されました。

当日の参加は、リモートにて洛中2名、明峯1名、福知山1名。対面実参加で、右京、左京、洛中、やましな、明峯各1名。及び、全国連盟より理事長、副理事長2名の計12名でした。

提出された計画書は以下の通りです。

- |           |                         |
|-----------|-------------------------|
| ○洛中労山①    | 唐松岳（八方尾根からピストン・小屋泊・12名） |
| ○右京労山     | 唐松岳（八方尾根からピストン・小屋泊・5名）  |
| ○左京労山     | 常念岳（常念東尾根～ピストン・テント泊・単独） |
| ○洛中労山②    | 五龍岳（遠見尾根よりピストン・テント泊・4名） |
| ○らくなん明峯合同 | 東北4座（日帰りピストン・車中泊・5名）    |

計画書の交流を通じて、技術的に問題の少ないルートでの計画であるが、気象条件により難易度が一気に上がる。ヘルメットは被るだけで、頭部への外傷リスクを下げることの出来る装備である。シャベルも雪崩対策以外にも、不時露営時での大きな役目を果たしてくれる装備で有り、携行推奨装備である。そのようなことを交流し、春山に向けて安全登山の実践を誓い合いました。

### 夏山/アルパイン連絡会（仮称）のお知らせ

夏から秋にかけて、岩稜縦走や、登攀などのバリエーションルートを計画されているパーティの、計画段階での交流会を7月5日金曜日に開催を予定しています。詳細は確定次第、機関誌等でお知らせいたします。

京都府連盟 事故一報を見て一その4ー

雪の無い普通の山登りの足滑りによる転倒事故例について

事故原因で転倒、転落、転倒転落が非常に多いがその内容が分からないのでその時の状況を事故一報の記事から抜粋しました。前月の続きです。

2023年8月13日作成							
普通の山登りの転倒、転落、転倒転落事故状況 42件 2017年9月～2023年6月							
No	事故場所	時間	転倒、転落、転倒転落の状況	ケガの状況	応急処置、下山の状況	受診等の状況	受診結果
30	下山	10:15頃	下山途中、杉の枯葉を踏んだ時に隠れていた枯れ枝が跳ね上がり足がひっかかってバランスが崩れて前のめりに転倒。	その瞬間に左手をひいて負傷した。			左手首剥離骨折
31	不明	14:20頃	尾根を歩いていて、横につまずきそうになり木を持った所、その木が揺れて谷側に振り落とされた。20mほど転げ落ち木で停止				頸(首)椎損傷
32	下り道	13:45頃	下降する際にぬかるみの斜面で足を滑らせ5m位転落落ちた	落ちた際左手首と左膝腹を打撲	意識はあり暫く安静にした。手首は湿布を清水で冷やした	翌日受診。親指にヒビと思われるスジが見えるので22日再受診予定	左手首骨折、左肩打撲、首捻挫
33	下り道	13:35頃	山を5分程下った所で右足が滑り足首が捻れた状態で尻餅を突く		靴の上から三角巾で固定し少し歩き重で帰る	骨折を指摘され25日総合病院にて入院手帳、3週間入院、リハビリ予定と診断	右足首骨折
34	登り	10:10頃	繩、曲がりくねった階段状の登山道を登っている時、靴が石にひっかかり足が前に出ず転倒				右足大趾挫傷
35	不明	8:30頃	ザシタ登山道で足を滑らせ次の香浜トラバースまでの登山道でスリップして滑落20メートル落下自己制動して止まる				胸骨骨折、手傷、顔面打撲、鼻骨骨折、左目傷
36	不明	8:10頃	走ってきた対面者を避けようとして木の根に足を引っかけて転倒	右手を突いた。			右手親指付近骨折

No	事故場所	時間	転倒、転落、転倒転落の状況	ケガの状況	応急処置、下山の状況	受診等の状況	受診結果
37	不明	14:00頃	転倒して膝を打つ	膝痛と腫れ	歩行困難		膝痛
38	下山	14:10頃	下山途中谷川の小さな岩に乗った所岩が崩れズレ落ちて転倒し2m滑落した	岩に手首を強打		翌々日に病院にて診断の結果、小指の骨折と診断	小指骨折
39	登り	8:40頃	登りの登山道に出る時3段の石段の2段目で尻もちをつき左肘を突いた	暫くて左肩を上げると痛みがあるが患部の腫れや傷はなし	最後迄、山行を続けた	帰宅後左肩の痛みがあるため受診する。同回か診察を受け左肩腱板損傷と言われる。	左肩損傷
40	下り道	12:00頃	登山道へ戻るべく急斜面を降りる中、前日の雨で濡れた地面で足を滑らせ転倒	10cm程の立木に右側腹部辺りを強打		帰宅後、病院を受診	肋骨骨折
41	下り道	9:40頃	自然石でできた階段を降りている時に右足が滑って1mほど右側(石段組み)上部から下に落下	落下する時に岩で前頭部を打ち裂傷			前頭部裂傷
42	不明	13:00頃	山を目指して林道を歩いている際、苔の生えた場所で溝にあった空缶を拾おうとして滑って転倒。				右手首開放骨折

42 件の普通の山登り(岩沢登り、屋内壁、海外等を除く山行)で起こった転倒、転落の事故一報の事故の状況やケガの内容見るとどれもが、なるほどと思うものばかりです。私自身、急な下り道だけでなく登り道でも平坦な所でも転びそうになったり転んだことは幾度もあります。

今年のヒヤリハット報告会で紹介しましたように昨年の夏に北海道の山に行った時だけで何と3回も滑って転びました。若い時は滑っても絶妙なバランスで体を立て直して転ぶことは少なかったのですが年老いた今はダメですね。オットと尻もちを突いたり転んでいます。

事故は一つの原因だけで起きるのは稀で多くが幾つかの原因が重なり合って起きます。でも、複合的な原因を追及するのはムリがあります。紹介した42件の事例を参考に今回は雪の無い山での足滑りの一つだけに絞って、滑りやすい場所、滑りにくい場所はどんな所かを説明して滑りやすい場所のスリップ防止策を考えてみました。

——続きは次号でお話しします——

## 2024年度 京都府勤労者山岳連盟ハイキング委員会

### 第1回公開ハイキング大文字山（465m）報告書

山行日 4月7日(日) 曇りのち晴れ

受講生 9名(女6名男3名)

スタッフ CL近藤(右京) SL平岡(山城) 奥田(らくなん) 荒川(山城)

山下(西山) 報告 平岡



コース 蹴上駅9:00～日向大神宮～七福思案処～大文字三角点11:15(昼食休憩) 大文字火床12:20～千人塚～八神社前13:07(解散式)～銀閣寺(13:25)

全行動時間(出発・解散式、休憩含む)＝約4時間25分(歩行3時間程度)

天候にも恵まれ蹴上駅で藤原さんの出発の挨拶後、出発。

ねじりまんぼをくぐりインクラインに立ち寄り満開の桜にうっとり。枝垂桜の横の広場で自己紹介、山下さんの動的ストレッチ体操で準備体操後、身支度を整えていざ出発。



日向大神宮到着後ミツバツツジに出迎えられて、いよいよ登山開始。今回の受講生の方々は、登山経験者が多く根っこ道や岩の登りくだりも問題なく和やかに談笑しながら歩き、予定の時間より早く登ることが出来た。

#### 受講生の感想

- \* 今回のコースは、インクラインの桜も見られてよかった。登山コースも気持ちよかった。
- \* リーダー、スタッフのサポート、色々丁寧に教えてもらった。細かな配慮や休憩も多く取られ歩くペースも良く楽しく歩けた。木やお花の名前、登山の話など楽しかった。
- \* その他、感想・要望 ちょっぴり自信がついた。何とかついていけた。楽しかった。比叡山に登りたい。等

～ 第2回 公開ハイク ポンポン山 5月12日(日)～

クライミング委員会山行 報告

## クライミング 《大阪府北部の岩場》

日:2月23日(金・祝) 小雨

メンバー:内野(洛中)、岩根(左京)、梅若(乙訓)、青山大(やましな)

1月に予定していたクライミングは雨で中止、この日も曇り予報&前日の雨でコンディションは悪そうだったけど強行実施。ガッツリは登れそうにないので、以前から気になっていた岩場偵察へ。

35年前の雑誌に載っているアプローチの橋は無く作業道も荒々、概念図とヤマップの軌跡を頼りに山の中を歩いて一つ目のそれらしい岩を発見。某インターネットサービス「Yah〇〇!」の天気予報は外れピリピリ小雨が降りだしたけど、岩を見たら登りたくなるので濡れているボルダーでクライミングを少々。お目当ての岩探しの続きへ、何となくもうそこらへんにありそうな雰囲気を感じてきた時に急な呼び出しがかかり急遽下山…。

このまま解散はちょっと物足りないので落合の岩場へ。相変わらずの天気でロープを出すほどのモチベーションはなく、取り付きにトラバース課題を設定し小一時間ほど遊んで終わった。

## クライミング 《滋賀県某所(非公開エリア)》

日:3月31日(日) 曇り

メンバー:内野(洛中)、杉島(右京)、河合(やましな)、梅若(乙訓)、青山大(やましな)

GWに行く予定の帝釈峡前に石灰岩でクライミングを、と言うことで滋賀県某所の岩場へ。2回連続になったアプローチのプチ核心を越え、無事に到着。が、3日前に降った雨の影響か岩には染み出しが…。でも、岩を見たら登りたくなるので取りあえずは登ってみる。

1本登って今回もまた「場所移動する?」との声もあったけど、何とかかなりそうだったし花崗岩気分じゃなかったから、「こっち面、まだ少しは乾いてますよ!」と。

10台前後のルートを順番に10本ほど、ココでのクライミングを楽しんだ。



## クライミング 《 白 嵩 》

日:4月14日(日) 晴れ

メンバー:内野(洛中)、河合(やましな)、青山大(やましな)

冬本番に再訪する予定だったが、1・2・3月と天気との相性が合わず4月になった。例のアレはあの後直ぐに駆除されたようで問題なかったけど(感謝です!)、最適なシーズンは終わっていて日の当たる午前中はめっちゃ暑かった…。

岩場は貸し切りで、各々好きなタイミングで目標ルートにトライ。宿題を無事に回収できたり、グレード以上の(?)難しさに凹まされたり、次回の課題を見つけたりと。

「そろそろ引き上げるか」とギアの片づけを始めるも時計を見るとまだ15時半、貸し切りだとなついついペースが速くなってしまふよう。アプローチも激近だから「もうちょっと登れるね」と、準備を始めクールダウンに1本。

## クライミング 《 白 嵩 》

日:4月20日(土) 晴れ

メンバー:河合(やましな)、梅若(乙訓)、青山大(やましな)

2週続けての白嵩通い、日曜計画だったけど雨予報なので土曜日に。この日も貸し切りでやっぱりここは冬の岩場、「暑すぎる～」と言いながら準備を。

先週はコルネの染み出しが凄かったけど1週間経ってほぼ乾き、壁のコンディションは良い。どのルートも登りたい放題、順番待ちなしで取り付けるのはシーズンオフのイイところ。

いつも通りに、「自分の登りたいルートを選んで自由に！」のスタイルで、のんびり・ガッツリそれぞれに。

コンパクトにまとまった良き岩場なので、沢登りシーズンが終わった半年後に再訪を!!



## 京都府連盟登山道倒木整備 一大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

ず安祥寺上寺跡左俣登山道の整備も終盤に向かっていきます。左俣も6月中には完了するかと思います。終わったら左俣からD尾根のまで登山道を整備を行います。倒木整備は楽しいです。是非、一度、参加してみてください。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得ています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

雨天時等は安全のために整備を中止します。

★実施日：6月15日(土) 7月20日(土) 7月21日(日)

6月16日(日)はやましな山の会の例会で行います。

雨天予想の場合は前日の19時までに判断して中止のみ連絡します。

★申し込み締め切り：実施日前の月曜日

★集合場所：JR山科駅改札口付近 9時00分(9時には出発します)

★参加申込先：連盟登山道整備担当 青山郁夫

080-3797-4392 携帯メール [2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp](mailto:2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp)

個々か会でまとめて申し込んで下さい。留守宅(緊急連絡先)も教えてください。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カップ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋(なければ軍手)、お茶、お弁当、救急薬品 ヘルメット(必携)、ノコギリ(なければお貸しします)、長靴(任意)、スパッツ、虫除けスプレー等

★共同装備：ロープ、ビニール紐、カラビナ、サムスプリント

★その他

- ・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
- ・木が1/3切れたら声を掛けること。1/3でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意!
- ・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。
- ・まだまだコロナには注意が必要です。本人や同居家族で微熱、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来に行ってください。



## 京都府連盟～安祥寺上寺跡左俣 登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

2024年4月13日（晴れ）

やましな：青山郁夫 青山久子 池本光明 右京：西村澄子 村上明彦 5名  
山科駅 8:43--9:18 林道入り口 9:25--9:52 登山道整備 16:00--16:50 山科駅

西村さん

今日も頑張りました。丸太の山を見て感慨深いです。

池本さん

今年はじめでの参加です。やり始めるとだんだんと元に戻ってくる感覚がありました。やっぱり登山整備はいいですね。自然の中に入ってやるのはいいですね。

村上さん

4月は花見もいいですが、桜の下での丸太切りもいいものです。小鳥のさえずりを聴きながら作業にいそしめました。

久子

だんだんと上流になってきたので、現場にたどり着くまでがまず一仕事です。今まで気がつきませんでした。桜の木があることに舞い散る花びらが教えてくれました。谷筋もきれいになりました。これから気候も良くなりますので、ぜひ歩いてみてください。

郁夫さん

ヒヤリハットがありました。しっかりと危険予知をしてお互い声を掛けあって安全作業に努めたいと思います。



### ヒヤリハット 1 件

状況：斜面に倒した倒木を 3 人でヒモで引っ張り降ろす時に予想外に直ぐに木が滑り落ちて勢い余って A さんがヒモに引きずられて下向きに転倒。立ち木に当たりそうになったがすかさず交して前の人のお尻に顔面を激突させた。幸いケガはなし。良かった。

原因：よもや倒木が簡単に引きずれるとは思わなかった。木が引きずられた時に持っているヒモを瞬時に離さず持ったままだった。

対策：倒木を降ろそうと引っ張った時に簡単に滑り落ちることもあとと予知しておく。ヒモが急に引っ張られたら瞬時にヒモを離す。ちなみにもう一人は瞬時にヒモを離していました。

## 京都府連盟～安祥寺上寺跡左俣 登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

2024年4月14日（晴れ）

やましな：青山郁夫 右京：市岡晴美 2名

山科駅 8:49--9:16 林道入り口 9:25--9:30 登山道整備 12:14--12:54 山科駅

今日は参加者が二人だけだったので倒木伐採は危険と判断して、かねてから綺麗にしたいと思っていた左俣右俣の合流点下部のダムの上の流木や朽ち木を整備しました。まだ木は残っているので二人の時はこの続きをしたいと思います。

市岡

やわらかな新緑、鳥の鳴き声に気持ちよく作業ができました。大雨で流されないよう倒木の置き場所を上部にした為、足場の悪い斜面の上り下りが大変でした。

今日もヒヤリハットが1件ありました。

状況：途中から折れている木を2人で落とそうとヒモで何度も引っ張っていたら突然、木の折れ目が破断して落ちて来た。勢い余ってAさんが後ろ向きに転倒。背中を打撲。転倒した足元に木が落ちて来た。危なかった。幸い背中は大したことなく作業を継続できた。良かった。

原因：まだまだ、これ位の引っ張りでは折れ目は破断しないだろうと思っていた。木が足元に落ちてくるとは思っても見なかった。引っ張るヒモが短かった。

対策：引っ張ったら木は直ぐに落ちてくるかも知れないと予知してヒモを引っ張る。木は真下ではなく引っ張っている方向に落ちてくるかも知れないと予知しておく。木が落ちて来ても安全な距離が保てる長さのヒモで引っ張る。

倒木整備は危険がつきまといます。今後、一層事前に危険予知をしてケガの無いよう安全作業に努めます。



ダムの上は流木や朽ち木で一杯



こんなに綺麗になりました。



木は大雨で流されないように上の方に据え置きました。

# 能登半島復興支援ボランティア



まずはオリエンテーション 軽トラが私たちを待っています。被災者のお家の被災品を運びます

## 被災地の「力になりたい」

私たちだからこそできること、たくさんあります



七尾市の仮置き場で被災品を分別しました。



穴水町の神社です。今も多くの家が倒れたままになっています。



能登里山海道はまだ全面復旧していません。

京都府連盟は石川県のボランティア団体事前登録を行い石川県からボランティア募集に応じて現地に行ける体制を整えています。

現在、連盟ボランティア登録者は9労山12名、元会員1名、計13人で、

これまでに8回、石川県に行って来ました。被災地の状況は思っていた以上

に深刻でした。実際に行って多くの方が支援を待っておられるのがよく分かりました。

活動の詳細は連盟機関誌の4月～6月号に載っていますのでご覧ください。

※活動中の被災者宅の撮影は厳禁になっています。

ボランティア  
受付中！



問合せ先：連盟担当者 青山郁夫 080-3797-4392

携帯 2382mikuio1025@ezweb.ne.jp or パソコン aa-ikuo1025@maia.eonet.ne.jp

## 能登半島地震被災者支援ボランティア報告

連盟ボランティア担当 青山郁夫

- ① 活動日：2024年4月15日16日 活動場所：志賀町（石川県取り組み）  
参加者：Lやましな：青山郁夫 久子 PA 車中泊と大島キャンプ場テント泊  
活動内容：15日大島海岸漂着物清掃 16日被災者宅の被災品被災物運び出し
- ② 活動日：2024年4月22日 活動場所：七尾市（総社市取り組み）  
参加者：Lやましな：青山郁夫 久子 聡美 PA 車中泊とテント村泊  
活動内容：被災者宅の被災品被災物運び出し
- ③ 活動日：2024年5月2日/3日 活動場所：穴水町/志賀町（石川県取り組み）  
参加者：Lやましな：青山郁夫 久子 車中泊と道の駅ころ柿の里車中泊  
活動内容：両日共 被災者宅の被災品被災物運び出し

### 青山久子

- 4月15日：大島海岸の清掃に携わりました。小学生の頃、父の転勤でこの海岸の南の内灘で海水浴をした思い出があります。夏までにもう少し清掃が必要です。隣接の大島キャンプ場は快適でした。
- 4月16日：今回は前回志賀町を訪れた時には通行止めだった海岸沿いを走ることができましたが、風光明媚な観光地は再開の目途が立たない様子でした。被災者の方も震災でけがをされて治療中だそうです。復興も支援も一歩ずつです。
- 4月22日：支援活動を通じて全国から来られているボランティアの方々のお話を伺うことができることは良い副産物です。いつもは京都と被災地の往復だけですが、今回、七尾市の中心街や和倉温泉周辺、氷見市も回りましたが、まだまだ手付かずの所がたくさんあります。継続した支援が必要だと感じました。また、ボラセンでのオリエンテーションで支援活動の状況が以前より多岐に渡ってきていると実感しました。まだまだできることは沢山ありそうです。
- 5月2日：初めて穴水町に足を延しました。思ったより近く感じたのは能登里山海道を片道でも通れる様にいただいたおかげです。途中宙ぶらりんのガードレールや窪みに落ち込んだままの乗用車も目にしました。倒壊家屋が手つかずの状態が多く残っていました。被災者の方の心に寄り添う支援の難しさを痛感した一日でした。
- 5月3日：何度か訪れた志賀町はようやく地理的にも把握できるようになりました。9人のグループで2軒の被災者宅と仮置き場を合計6回往復しました。GWなので仮置き場では物品の搬入をされている他府県ナンバーの車が多くありました。前回仮設住宅建設中の場所に今回入居者の生活されている様子が見られました。

## 青山郁夫

4月15日：海岸がとても綺麗になりました。海水浴に来る方も喜びます。海岸清掃も復興支援で大切な活動です。

4月16日：被災者の家から大切にしていた被災品を運びました。おうちを出る時のおじいちゃんとおばあちゃん的笑顔に涙が出そうでした。

4月22日：2軒の被災者の家から被災品を運びました。七尾市中心街の被災状況は予想以上でした。まだ困っている人が大勢おられます。助けてあげたいです。

5月2日：穴水町は予想以上の状況。街中でも倒れている家、傾いている家が一杯。被災品を分けるのも手伝いました。おばあさんに「これはおばあちゃんに作ってもらったの」「これは孫が大切にしていたの」と話しかけられ感無量でした。

5月3日：被災者の方はビクトリノックスを知っている方で山の話ができました。

## 青山聡美（4月22日）

地震から113日目。報道等でクローズアップされていない被災状況をこの目で見た。自分の力があまりに小さく不完全燃焼さを実感した。（ボランティア内容は2軒の被災宅から被災品の運び出し）

そこで私はこのモヤモヤとした気持ちを、帰りの送迎車でたまたま隣に座った50代程の男性に話してみた。その方は、七尾市のボランティア2週間目。これまでに被災者宅への聞き取り調査、被災物の運び出し、“仮”仮置き場での作業を経験され、私の話を聞いて次のように話して下さいました。

復興ボランティアというのは、リレーみたいなもので、何も自分がゴールまで行こうとしなくても、次のボランティアの方のところまで一所懸命頑張ればいい。どれだけ長い時間取り組んだか、何日ボランティアに行ったかではなくボランティアに来て頑張ってくれたという事実が被災した方々には励ましになって力になるんだよ。

この言葉で、今の自分にできることをすることは、それがいずれ必ず大きな力になるということが分かった。被災地のためにできたことはわずかだったが、逆に得たものは大きく人生の財産となるものだった。このボランティアで感じたことを大切にこれからに活かしていきたいと強く感じた。



4/15 大島海岸漂着物清掃



4/22 活動前の説明会



5/2 被災品の搬送

## 能登半島復興支援ボランティアに参加して…

ボランティアに集まった仲間たち。北は北海道から南は沖縄と全国各地から。ボランティアセンターのスタッフも全国の社協の方が輪番で運営に携わってくれている。自然と声を掛け合ったり、話ができるのも、志を同じくするから。心強い限りだ。



テレビで報道されていた映像と実際現地で目にした状況は全く違う。震源地に近づくにつれて屋根を覆うブルーシートの数が多くなる。道路の亀裂が至る所にあり、道が歪んでいる。それでも2か月後に行った時には道路が開通していたし、花も咲いていた。一歩ずつ前を向いている。

七尾市では仮置き場に運ばれる前に仮置き場で分別作業。直接被災者の方にお逢いすることはないが、被災者の目の前では絶対にできない作業でもある。

被災直前までそこで生活していた家具や道具。倒れたタンスの中から出て来た洋服や写真。思い出の品の数々… 決してゴミではない！



マニュアルの軽トラのハンドルを握った瞬間、ボランティア活動の自己責任を痛感した。被災された方のためにも怪我なく安全に活動することが大切。

合言葉は『ご安全に！』

2024年4月26日

加盟団体代表者のみなさまへ

日本勤労者山岳連盟 理事長 川嶋高志  
組織部長 久保典子

### 6月29日～30日開催

#### 平和と登山全国集会への「活動レポート」のお願い

日頃からの登山運動でのご尽力に敬意を表します。

過日の全国連盟総会で、本年6月29～30日、東京飯田橋において、平和と登山全国集会を開催することになりました。

つきましては、貴会・クラブにおける平和活動の成功事例や、特徴的な活動、国民平和大行進への取組、はたらきかけや活動の工夫、体制づくり、努力していること等のテーマで、レポートにまとめて報告いただきたいと思います。市民の登山要求に応えるためにも、「平和でこそ登山ができる」と活動・実践している経験をご共有ください。

これを全国に普及して、さらに発展できる登山をみんなで築き上げるために、実践報告をお願いするものです。

寄せていただいたレポートのなかから、平和と登山全国集会で発表いただく方を選出します。発表者の交通費は、半額を全国連盟で負担します。

なお、レポートの提出期限は5月30日（木）とします。

#### 記

##### <平和と登山全国集会>

- 期 日 2024年6月29日(土) 13:00～30日(日)12:30
- 場 所 東京セントラルユースホテル 電話 03-3235-1107  
(JR飯田橋駅西口直結のセントラルビル18階)

■参加対象 登山会員および全国の登山者

##### <活動レポート>

■書 式 書式と枚数は下記の様をお願いします。

ワード文書、ページ設定：用紙A4、文字数・行数 40、余白・上下左右とも25mm、フォントは日本語用のフォントは「MS明朝」、英数字用のフォントは「MS明朝」、文字サイズ12ポイント、スタイル標準。文書1～2枚。写真や図表がある場合は追加1枚。

■提 出 メール添付でお送りください。宛先メールアドレス [jwaf@jwaf.jp](mailto:jwaf@jwaf.jp)

■レポート締切 5月30日（木）

■問い合わせ先 全国連盟事務局（小池） TEL：03-3260-6331

E-mail [jwaf@jwaf.jp](mailto:jwaf@jwaf.jp) FAX：03-3235-4324

# 平和と登山全国集会

## NO PEACE NO CLIMBING

記念講演

核兵器禁止と世界平和への道

～核兵器も原発もない世界の実現をめざして～

講師 野口邦和 (原水爆禁止世界大会実行委員会共同代表)

2024年6月29日(土)

13:30-18:40

基調報告 浦添嘉徳

記念講演 野口邦和

地方連盟からの報告と自由討議

2024年6月30日(日)

8:30-11:00

地方連盟からの報告と自由討議

12:30-13:30

新宿駅 グリーン・アクション

会場:東京セントラルユースホステル  
定員:会場80名 Zoom参加無制限  
※誰でも参加できます!申し込み・詳細は⇒



### 日本勤労者山岳連盟

核兵器の威嚇・使用を許さず、禁止・廃絶の世界に今こそ！

## 2024年平和行進ニュース

No.1 2024年3月30日(土)  
京都国民平和行進実行委員会  
Tel075-811-3203  
Fax075-811-3213

# ビキニ被災70年から被爆80年へ 核なき世界、非核日本めざして、 全市町村を歩き通そう！

### 2024年国民平和行進第1回京都実行委員会報告

国民平和行進の第1回実行委員会を3月4日(月)開催しました。実行委員長は今年も梶川康京都府議議長です。2024年度の行進日程とコースを決定しました。以下に紹介します。

#### 【東京→広島コース】

- 6月21日(金) 滋賀県から引き継ぎ 山科区・ラクト公園で引き継ぎ集会  
ラクト公園→三条通り→東山三条→河原町三条→京都市役所前  
★今年はラクト公園から京都市役所までしっかり歩きます！
- 6月22日(土) 向日市→長岡京市→大山崎町、八幡市  
6月23日(日) 宇治市→久御山町→城陽市  
6月24日(月) 宇治田原町→井手町→京田辺市  
6月25日(火) 和束町→笠置町→南山城村  
6月26日(水) 精華町→木津川市→奈良市般若寺で奈良県に引き継ぎ集会

#### 【富山→広島コース】

- 6月30日(日) 福井県から引き継ぎ 舞鶴市しおじプラザで引き継ぎ集会  
舞鶴市内
- 7月 1日(月) 宮津市→与謝野町→伊根町  
7月 2日(火) 宮津市・与謝野町・伊根町・京丹後市で調整検討中  
7月 3日(水) 京丹後市  
7月 4日(木) 京丹後市→兵庫県へ河梨峠で引き継ぎ集会  
★富山→広島コースは地震被害のため総費地域の行進が困難となり、それをカバー  
するために舞鶴→京丹後市の行進日程が例年より1日多くなっています。

#### 【綾部→亀岡・京都府縦断コース】

- 7月 2日(火) 綾部市→福知山市(大江・夜久野)  
7月 3日(水) 福知山市→福知山市(三和)  
7月 4日(木) 京丹波町→丹州市(美山)  
7月 5日(金) 南丹市→亀岡市  
7月 6日(土) 亀岡市

#### 【京都市内網の目行進】

- 6月21日(金) 山科区コース  
7月 6日(土) 北・上コース  
中京コース  
下京コース

南区 course  
左京コース  
西京コース  
右京コース  
伏見コース  
東山コース  
全体集結集会 京都市役所前

## 2024年国民平和行進6つの重点方針

- ① 国連憲章に基づく世界の戦争の終結、核兵器禁条約による核廃絶、日本の戦争する国作り阻止への圧倒的世論を作り出していく。
- ② 「歩く」行進を基本に、京都府下全自治体での行進を行い、府民にアピールしていく。
  - ・ 豪雨なども含めて昨年歩けなかった自治体 ー 箕輪、亀岡、和束、笠置、南山城
- ③ 創意工夫ある行進、幅広い呼びかけで昨年以上の行進参加者数をめざす。
  - ・ 昨年の参加者数 1,609人
  - ・ SNSの活用、若い世代の参加
  - ・ 外国人観光客へのアピール
- ④ 京都府内通し行進者の募集と配置
  - ・ 東京→広島コース、富山→広島コース、京都府下縦断コース、それぞれへの配置
- ⑤ 全自治体を訪問し、平和行進への協力依頼と合わせて、平和施策のための自治体との協力関係づくりをめざす。
- ⑥ 5月6日～8月9日の期間、全自治体を目標に、原爆写真展・高校生の描いた絵展の開催をすすめる。

## 今年の通し行進者【東京→広島コース】が決まりました。

### 【東京→広島コース】大村 美恵さん

JMITU 通産産業本部（愛知）

★全国通し行進（初参加）

昨年の通し行進者、村上厚子さんの姿を見て尊敬の念を抱きました。私にもできるかしら、決意しました。

日本は唯一の被爆国です。今年8月で被爆79年、いち早い核兵器廃絶が望まれます。私の義理の父は、今は亡くなりましたが、長崎での被爆者でした。彼の無念を晴らすためにも、91日間歩くことを決めました。



## 京都府下通し行進者を募集中です。

“我は！”と思う方はぜひご応募下さい。お申し込みは別紙の申込用紙にて



10(日)自宅～南条 SA 車中泊。

11(月)南条 SA～磐越道津川 IC～室谷登山口～御神楽岳往復～民宿：高見台泊

12(火)川入民宿：高見台～飯豊本山～大日岳～本山小屋泊

13(水)本山小屋～川入～天元台～西吾妻山往復～裏磐梯 YH 泊

14(木)裏磐梯 YH～一切経山～安達太良山～磐梯山～裏磐梯 YH 泊

15(金)裏磐梯 YH～杵差岳～二王子岳～奥胎内ヒュッテ泊

16(土)

04:48 起床。昨夜は寝苦しくて熟睡出来ず。外は雨。ストレッチ等をして朝食を待つ。5時 35 分朝食。登山者用弁当をロビーで食べる。

05:56 奥胎内ヒュッテ発。ジャンボタクシーで登山口に向かう。同乗者は6人。泊り客では僕1人。後は今朝早く車で着いた人達。

06:03 足の松尾根登山口着 06:06 発～雨は上がったがいつ振り出してもおかしくない状態なので合羽を着たまま行く。初めはブナ林の中のなだらかな道。やがて岩場の急登。大きな松の根が網の様に張り巡らされている。

06:15 一歩登る毎にダラダラ汗をかく。余りの暑さに合羽を脱ぐ。

06:41 地図にはない最初の岩場。

06:48 姫子の峰。小さな広場は展望台になっていて、正面には大石山～頼母木山～地神山と続く飯豊連峰の稜線が見える。

07:26 滝見の場。いつの間にか英三ノ峰は過ぎたらしい。左下に足ノ松沢の滝が見える。鉾立峰～アゴク峰～大樽山へと延びる稜線がその上に続いている。

08:03 水場分岐。「80m 下水場」の標識。この暑さで既に 500m $\ell$  飲んだ。2 $\ell$  では心許無いので汲みに行く。豊かな水が川になって流れている。帰る途中1本落とす。地図では杵差小屋近くに水場があるのでそれをあてにして行く。

08:22 小雨が降り始めるが丁度ブナの大木の葉陰で助けられた。暫くして止む。

09:10 大石山山頂。日が射してきた。稜線の上に頼母木小屋が見える。大石山～鉾立峰鞍部への下りはマツムシソウの花畑。一面に咲いている。鉾立峰への登りは笹原の中の急登。左の谷からの涼しい風が心地良い。

09:51 鉾立峰。また雨、合羽を着る。鉾立峰からの下りは花畑の中の稜線歩き。

10:25 杵差小屋。花畑の中に眠る様に建っている。小屋にデポして杵差岳に向かう。

10:30 杵差岳山頂。広い山頂に小さな祠がある。小屋に戻り昼食。他には誰もいない。水場へ往復 18 分かけて行くが雪解けの溜水で中に蛭がいて飲めず。

11:00 小屋発～11:22 鉾立峰～11:51 大石山。大石山手前で今朝タクシー同乗の人達に出会う～12:41 水場分岐。往復 14 分、水を補給。

13:55 姫子の峰。またドシャ降りて全身ずぶ濡れ。岩も土も木の根も全てツルツル。

14:32 登山口着。タクシーは 16:30 発なので歩いて帰り 15:15 ヒュッテ着、泊。

17(日)600km/7h をひた走り途中米山 SA で仮眠して4時半頃に無事帰宅。

今回も雨に降られたが無事に杵差岳に登る事が出来た。先に登った飯豊連峰を眺め乍らの思い出深い山行になった。



## 6月号案内

表紙の写真 表紙の言葉

高野 寛 (伏見山の会)

### 金勝アルプス

2024年3月10日

会の例会で上桐生から金勝アルプスに行きました。

落ヶ滝から鶏冠山、白石峰、竜王山、国見岩と歩いて狛坂磨崖仏、オランダ堰堤と縦走しました。

琵琶湖を東側から見る景色も新鮮でしたが、

登山口のシダ類生い茂る景色や荘厳な滝の景観が印象的でした。

また、国見岩の上に上がるとほぼ360度も見渡せる景色の良さ。

まるで奥秩父の日本百名山・瑞牆山を思わせる天狗岩などが現われて飽きさせません。

関西に、しかも琵琶湖近くにこんな場所があるとは思ってもみませんでした。

しかし、知ってる人は知っている。

山歩きに残された時間も少なくなり、日本百名山や日本アルプスにばかり目がいていましたが、もっと近くに楽しめる山があるという事に気付かされる山城でした。

(高野 寛)



### <お知らせ>

「提案 情報 投稿」原稿を募集しています。連載企画の内容でもOKです。労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。

**【投稿先】** 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス [hirossan-1954@nifty.com](mailto:hirossan-1954@nifty.com)

\*原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

\*字体 MS明朝体 11P 余白上、左、右各20mm 下20mm

## 2024年 京都府連盟 月間予定表

6月 (水無月・JUN)		
1	土	
2	日	第55回全国一斉クリーンハイク
3	月	自然保護委員会
4	火	事務局長会議
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	公開ハイク・源氏物語ゆかりのコース宇治
10	月	常任理事会
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	大文字山登山道整備
16	日	
17	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	平和行進 滋賀から引き継ぎ 山科 やまびこ利用日
22	土	
23	日	無雪期搬出訓練
24	月	常任理事会
25	火	気象勉強会
26	水	女性委員会 平和行進 奈良県に引き継ぎ 般若寺
27	木	
28	金	
29	土	クライミング委員会 沢登り・八ッ淵の滝 自然観察会「大原から瓢箪崩山」
30	日	29日～平和と登山全国集会 平和行進 福井県から引き継ぎ 舞鶴

7月 (文月・JUL)		
1	月	自然保護委員会
2	火	事務局長会議
3	水	
4	木	平和行進 兵庫県に引き継ぎ 河梨峠
5	金	
6	土	平和行進 京都市内 網の目行進
7	日	
8	月	常任理事会
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	海の日
16	火	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
17	水	
18	木	
19	金	やまびこ利用日
20	土	大文字山登山道整備
21	日	大文字山登山道整備
22	月	常任理事会
23	火	気象勉強会
24	水	女性委員会
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	